クリヤマ株式会社

2011年度決算及び
2012年度業績見通し説明資料

クリヤマ株式会社
KURIYAMA CORPORATION

http://www.kuriyama.co.jp

目　　次

クリヤマ株式会社

Ⅰ. 2011年12月期決算概要

2011年度決算サマリー	P. 3
損益の状況	P. 4
販管費・営業外損益の状況	P. 5
セグメントの状況	P. 6
北米事業の状況	P. 7
産業資材事業の状況	P. 8
建設資材事業の状況	P. 9
スポーツ施設資材事業の状況	P. 10
要約貸借対照表	P. 11
キャッシュフロー、設備投資等	P. 13

Ⅱ. 2012年度　業績見通し

クリヤマグループ業績見通し	P. 15
事業セグメント別業績見通し	P. 16
セグメント別業績変動要因	P. 17
配当金の状況	P. 18

Ⅲ. 持株会社化にあたって

純粋持株会社　設立の目的	P. 20
純粋持株会社の概要	P. 21
クリヤマグループ資本体系図イメージ	P. 22

Ⅳ. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略	P. 24
北米事業	P.26
産業資材事業	P. 27
建設資材事業	P. 28
スポーツ施設資材事業	P. 29
その他	P.30

【 注 意 事 項 】

本資料に記載されている、クリヤマ株式会社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

Ⅰ．2011年12月期決算概要

2011年度決算サマリー

クリヤマ株式会社

当期の経営環境

- ●好調な建機顧客を背景に量産用機械資材の販売が堅調。
- ●北米でのホースの販売は、現地通貨で過去最高売上を更新するも原材料の高止まりの影響を受け、減益。
- ●民間大型受注物件の減少や東日本大震災による発注停止等の影響もあり、建設資材の売上が減少。
- ●移転価格税制更正処分取消による還付税額を計上。

当期純利益は最高益を更新するも、売上高、営業利益、経常利益は前年を下回る結果になる。

11年度実績
売上高314億円74百万円　営業利益15億75百万円、
経常利益18億89百万円　当期利益13億51百万円

（次ページご参照）

損益の状況

クリヤマ株式会社

（単位:百万円、％）

	2010/12 金額	2010/12 百分比	2011/12 金額	2011/12 百分比	増減率
売上高	32,354	100.0	31,474	100.0	△2.7
売上総利益	7,976	24.7	7,938	25.2	△0.5
営業利益	1,745	5.4	1,575	5.0	△9.7
経常利益	1,894	5.9	1,889	6.0	△0.2
当期純利益	1,142	3.5	1,351	4.3	18.3

為替レート	米国$	87.30円	78.53円
	カナダ$	84.33円	78.71円
	中国元	12.90円	12.46円

- 過度な為替円高と建設資材事業受注減が影響し、売上は前年比2.7％減収。
- 営業利益は、原材料高と運賃荷造費等の増加により、前年比9.7％減少。
- 移転価格税更正処分取消に伴う利益計上により、当期純利益は前年比増。

販売費・営業外損益等の状況

クリヤマ株式会社

（単位：百万円）

	2010/12	2011/12	増減額
1. 販管費	6,230	6,363	132
①役員報酬・給与・賞与	2,385	2,449	65
②退職給付費用	83	81	△2
③運賃荷造費	716	774	58
④旅費交通費	211	220	9
2. 営業外損益	148	314	165
⑤還付加算金	―	66	66
⑥為替差損益（為損△）	△57	8	66
⑦持分法投資利益	254	226	△27
⑧支払利息	114	93	△21
3. 特別損益	△181	△104	77
⑨貸倒引当金戻入益	―	17	17
⑩投資有価証券評価損	15	32	16
⑪固定資産除却損	26	3	△23
⑫減損損失	135	9	△126
⑬資産除去債務影響額	―	50	50

セグメントの状況

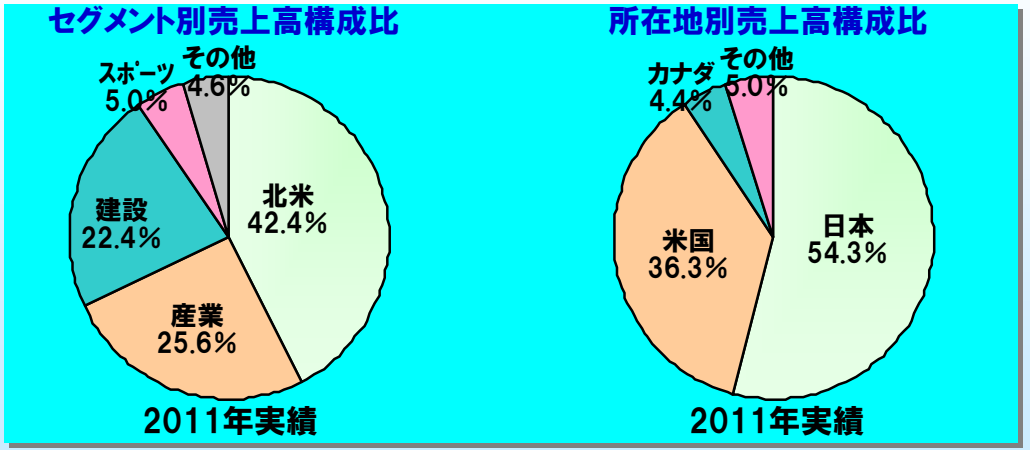
クリヤマ株式会社

（単位：百万円、％）

		2010/12 売上高	2010/12 営業利益	2011/12 売上高	増減率	2011/12 営業利益	増減率
セグメント別	北米	12,673	1,187	13,346	5.3	1,084	△8.7
	産業資材	8,346	872	8,052	△3.5	928	6.4
	建設資材	8,451	251	7,054	△16.5	47	△81.2
	スポーツ施設資材	1,717	126	1,565	△8.9	150	18.9
	その他	1,164	△28	1,456	25.0	6	―
	連結	32,354	1,745	31,474	△2.7	1,575	△9.7

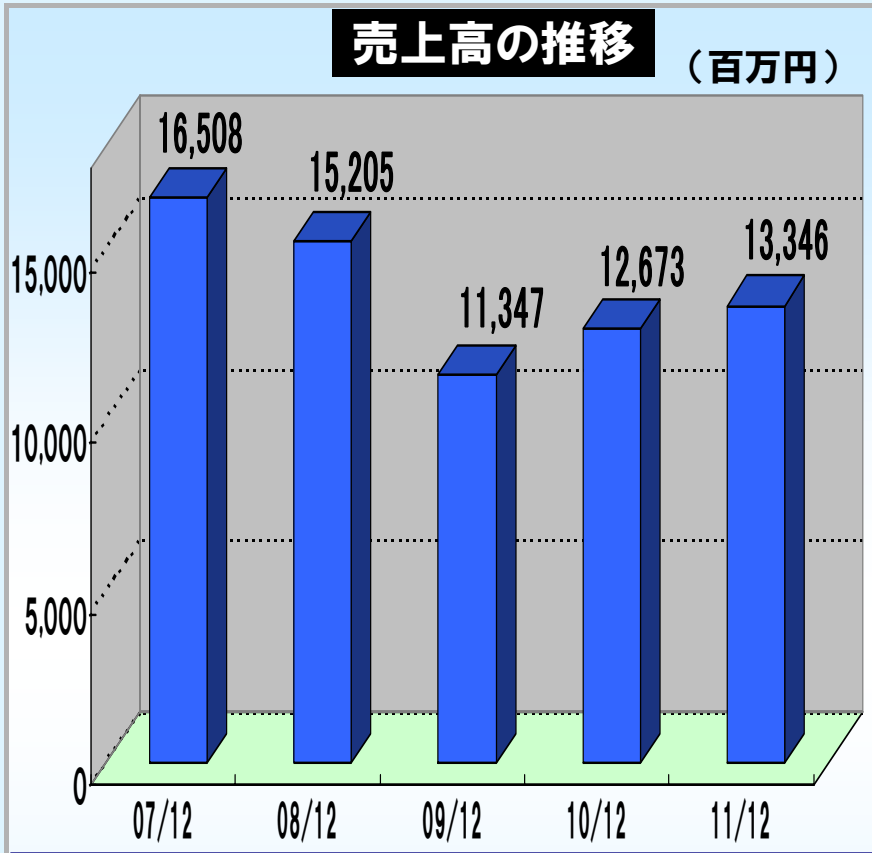
（単位：百万円）

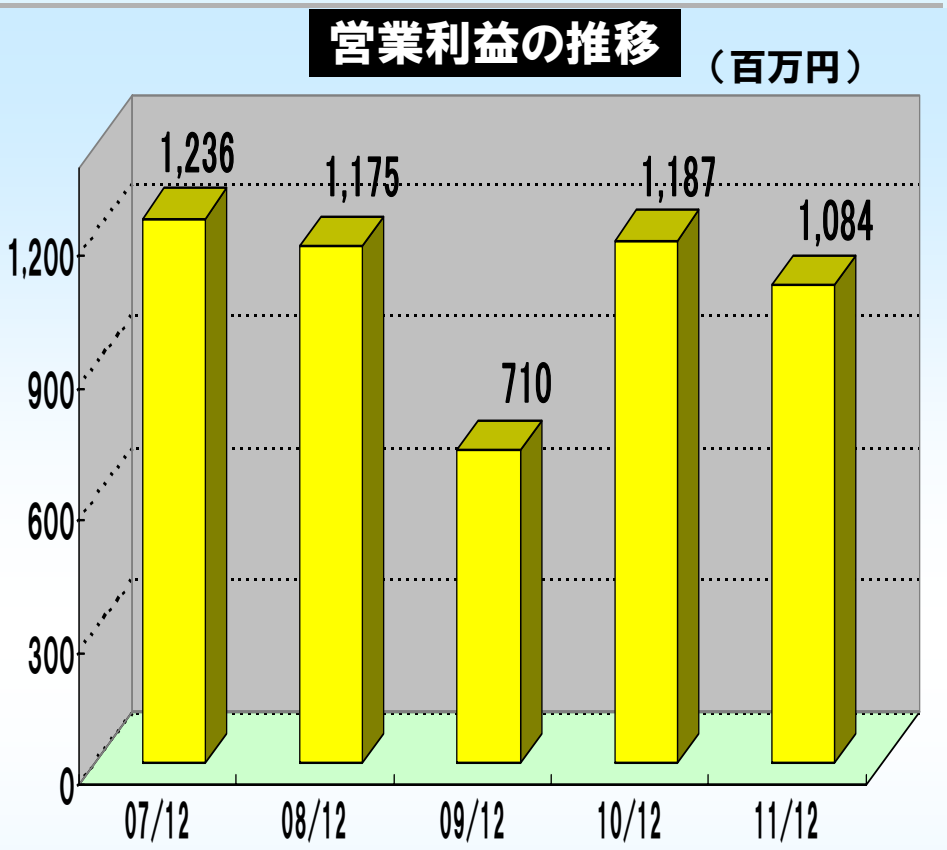
所在地別（売上高）	
日本	17,079
米国	11,436
カナダ	1,391
その他	1,567



北米事業の状況

クリヤマ株式会社





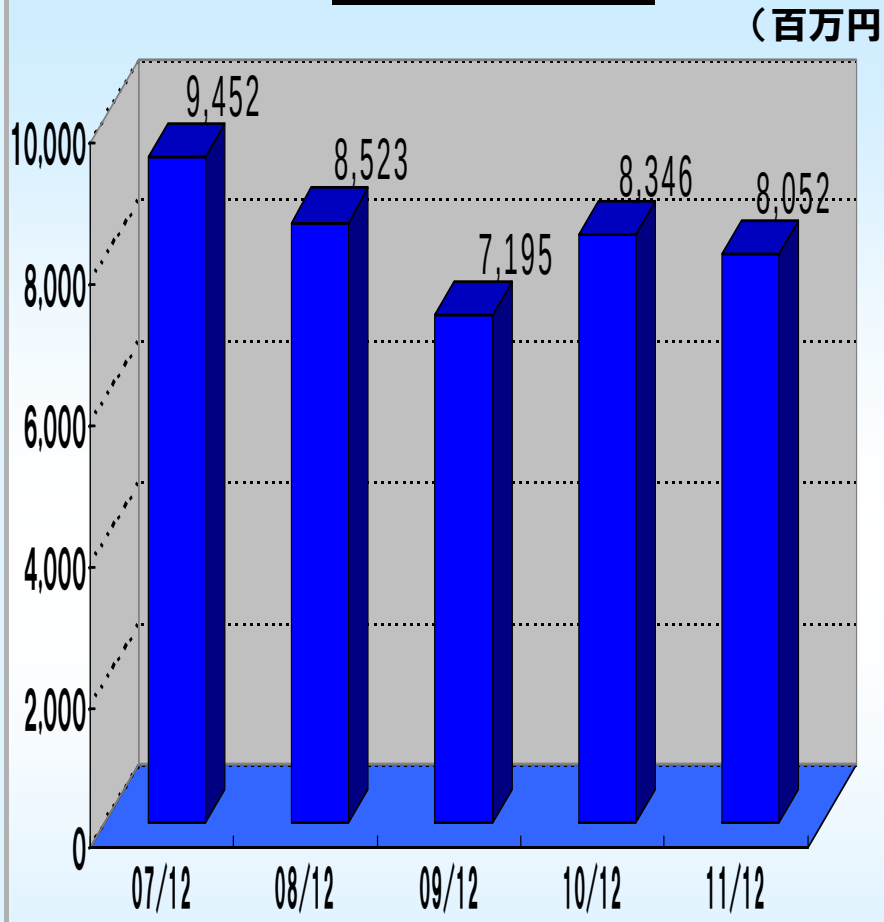
- 堅調な米国経済を背景に樹脂ホース販売（産業・建設・農業・飲料業界等へ販売）が現地通貨ベースで好調。
- 過度な円高に伴い、邦貨に換算すると大きく目減りするも、前期に比べ、売上高は5.3％増収。
- 原材料高止まりにより営業利益は、前期に比べ8.7％減益。

適用レート(1US$)	07/12	08/12	09/12	10/12	11/12
	117.51円	102.81円	93.72円	87.30円	79.63円

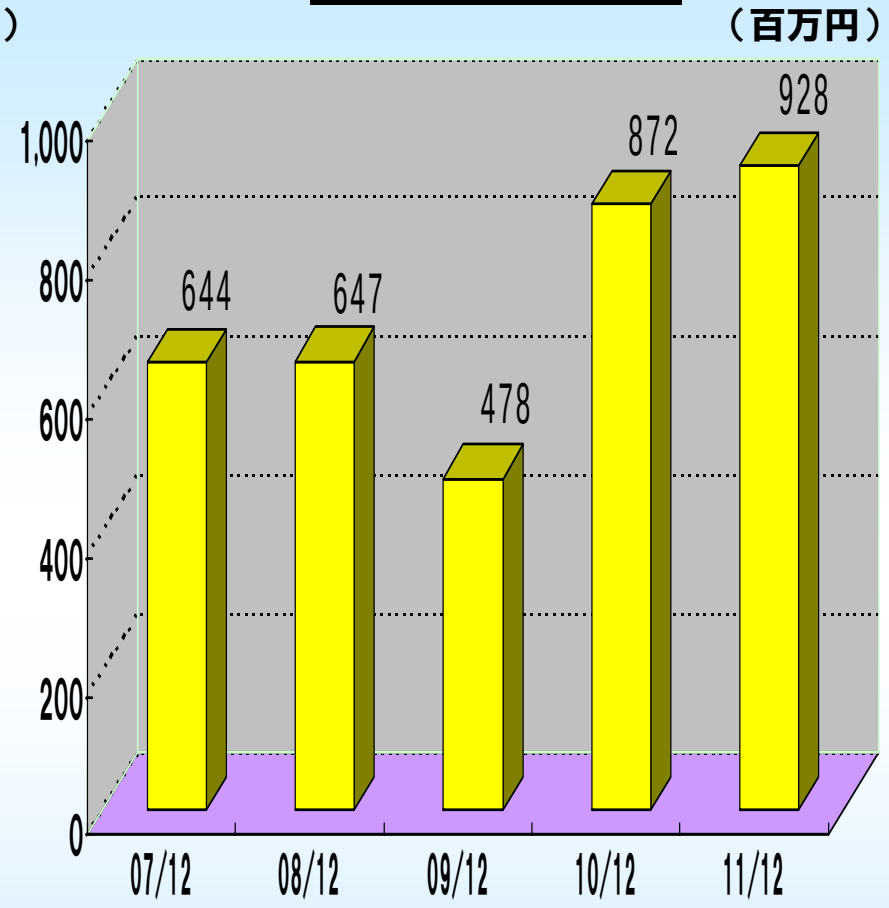
産業資材事業の状況

クリヤマ株式会社

売上高の推移



営業利益の推移

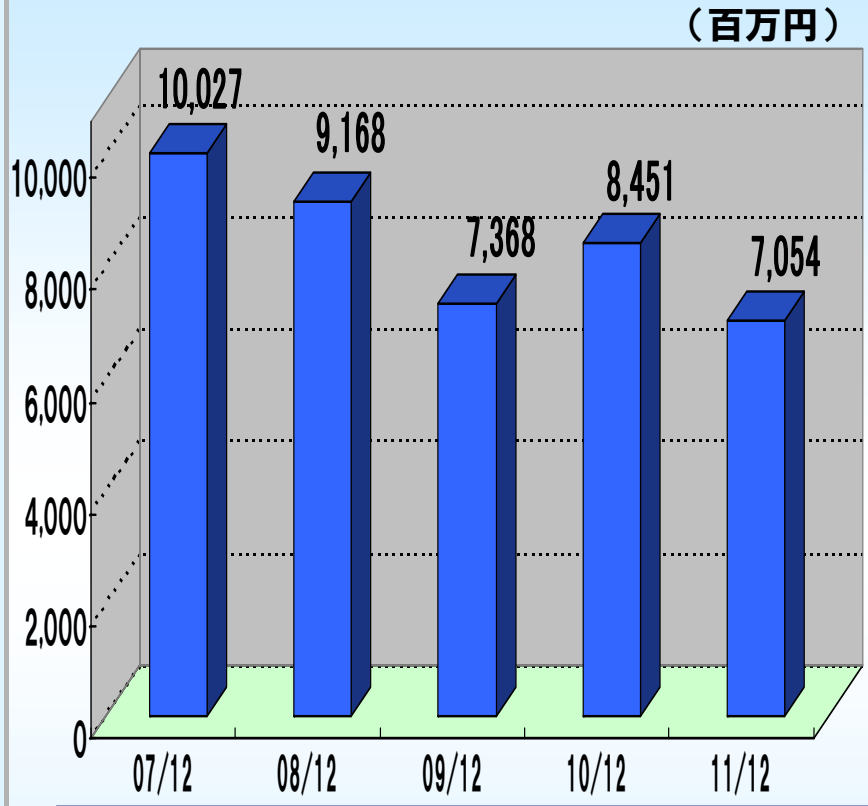


- 大型プラントの受注物件減少により売上高は前期に比べ、3.5％減収。
- 建機顧客の好調な生産を背景にOEM資材の販売は堅調。
- 原価低減努力に加え、製品ミックス改善により営業利益は前期に比べ6.4％増益。

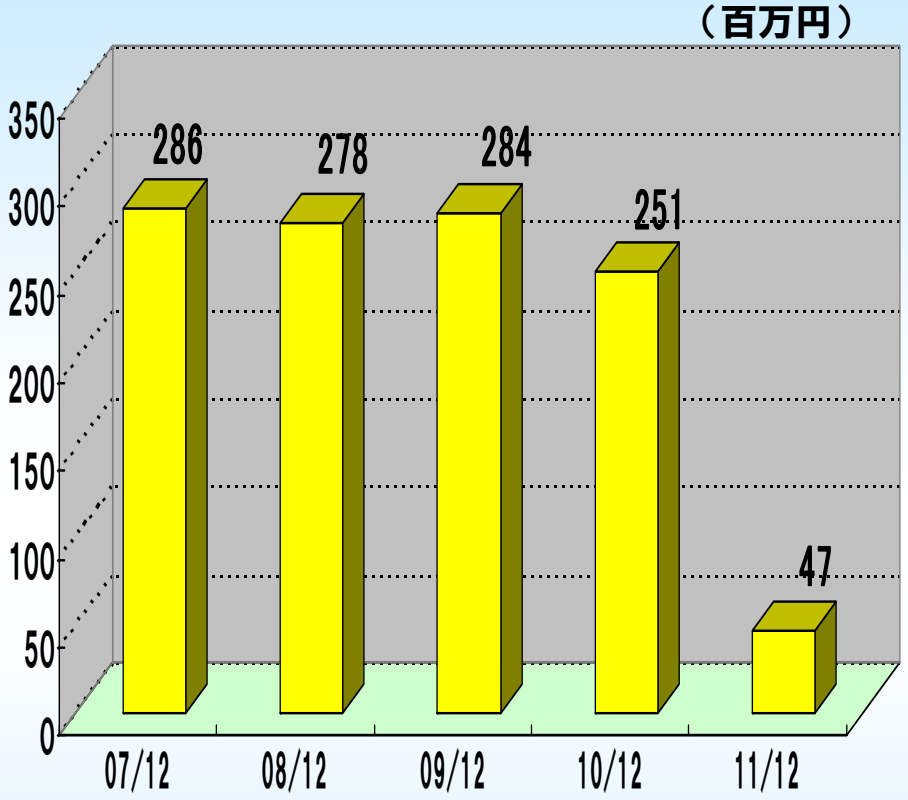
建設資材事業の状況

クリヤマ株式会社

売上高の推移



営業利益の推移

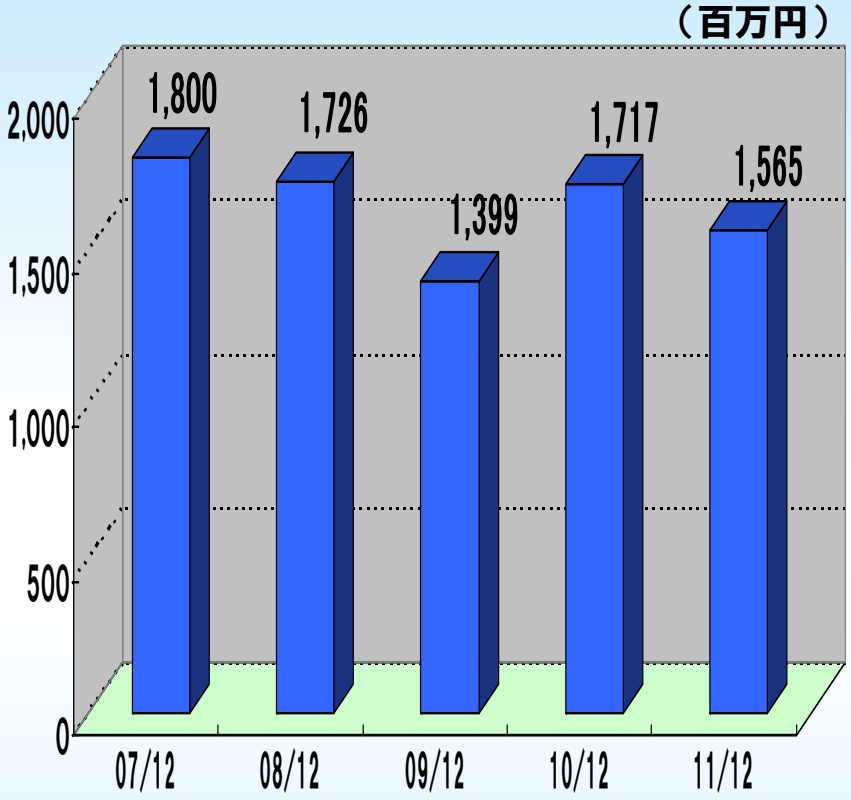


- 大型民間投資物件の受注減に伴い、代表商品のスーパーマテリアルズ（オリジナル商品）の販売が減少。
- 震災復興の遅れにより受注増に至らず、民間、公共投資とも低調。
- これらの結果、前期に比べ、売上高は16.5％減収、営業利益は81.2％減益。

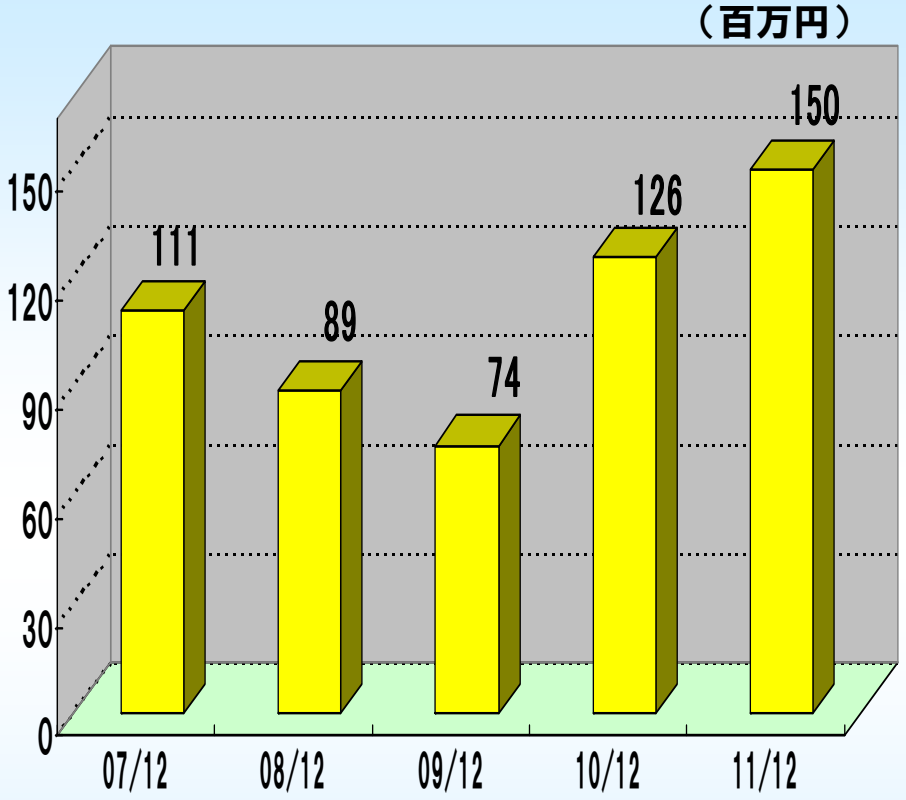
スポーツ施設資材事業の状況

クリヤマ株式会社

売上高の推移



営業利益の推移



- 陸上競技場で使用される「スーパーX」（全天候型舗装材）の売上が価格競争激化により減少。
- 東日本大震災に伴う発注停止により、受注が減少。
- 減価償却費や貸倒引当金繰入額減少により、販売管理費は減少。
- 前期に比べ、売上高は8.9％減収、営業利益は18.9％増益。

要約貸借対照表

クリヤマ株式会社

〔資産の部〕

（単位:百万円）

	2010/12	2011/12	増減額
現金及び預金	3,396	3,984	587
受取手形・売掛金	6,965	5,832	△1,133
たな卸資産	4,467	5,260	793
その他	385	609	223
流動資産合計	15,215	15,686	471
有形固定資産	5,329	5,372	43
無形固定資産	312	267	△44
投資その他の資産	3,039	3,020	△18
固定資産合計	8,681	8,661	△19
資産合計	23,896	24,348	452

借入金返済充当
現預金増加

販売機会損失防止のために北米を中心に在庫強化

移転価格課税更正処分取消　還付税額　83百万円増等

要約貸借対照表

クリヤマ株式会社

〔負債・純資産の部〕

（単位：百万円）

	2010/12	2011/12	増減額
支払手形・買掛金	5,678	5,597	△81
借入金（1年内社債含）	4,511	4,703	192
その他	846	809	△37
流動負債合計	11,036	11,110	73
借入金	2,829	2,278	△550
その他	974	1,206	232
固定負債合計	3,803	3,485	△318
負債合計	14,840	14,595	△244
株主資本合計	10,270	11,493	1,222
評価・換算差額合計	△1,254	△1,779	△525
小数株主持分	39	39	△0
純資産合計	9,056	9,753	696
負債、純資産合計	23,896	24,348	452

良好なキャッシュフローにより有利子負債圧縮を継続
3億58百万円（純減額）

繰延税金負債　1億2百万円増
資産除去債務　90百万円増

当期純利益13億51百万円計上

・為替換算調整勘定　為替円高に伴い4億13百万円減
・有価証券評価差額金1億11百万円減（時価下落）

自己資本比率　2.2%増加
2010年度末　37.7%→2011年度末39.9%
債権債務が増加し、総資産増加

キャッシュフロー、設備投資等

クリヤマ株式会社

（単位：百万円）

	2010/12	2011/12	増減額
営業キャッシュフロー	1,099	1,751	651
投資キャッシュフロー	△322	△585	△263
財務キャッシュフロー	△1,008	△453	554
現金・同等物期末残高	2,804	3,392	587
設備投資額	340	575	234
減価償却費	504	461	△43
研究開発費	126	117	△8

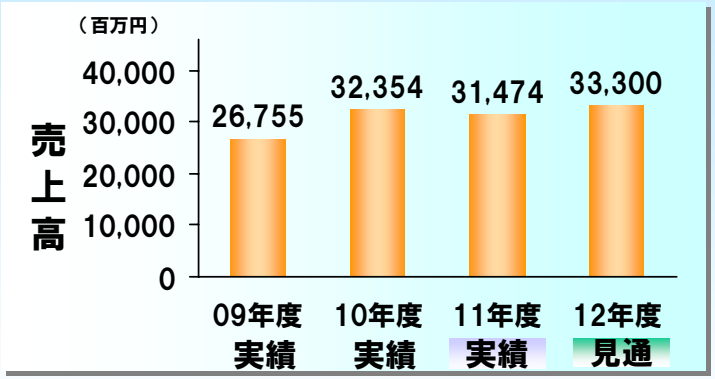
- 営業CF　・・・税金等調整前当期純利益（17億85百万円）、売上債権の減少（10億23百万円）
- 投資CF　・・・有形固定資産の取得による支出（5億65百万円）
- 財務CF　・・・借入金（社債含む）の返済（償還）による支出　合計（3億5百万円）
- 設備投資　・・・国内：約104百万円、海外：約470百万円

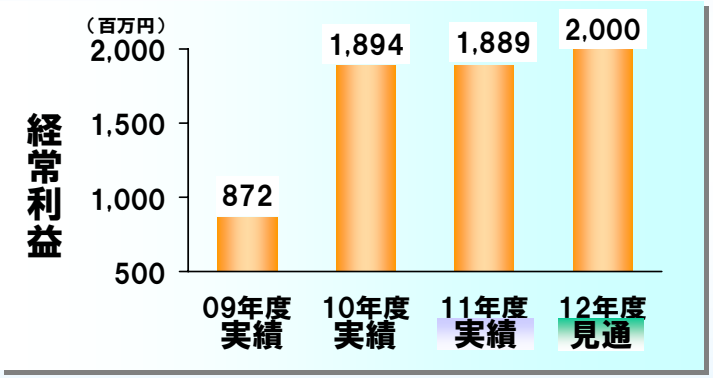
Ⅱ．2012年度　業績見通し

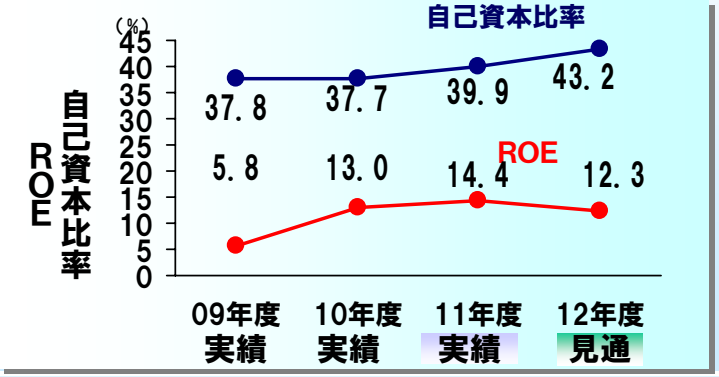
クリヤマグループ業績見通し

クリヤマ株式会社

		2009年実績	2010年実績	2011年実績	2012年見通
売上高（百万円）		26,755	32,354	31,474	33,300
営業利益（百万円）		733	1,745	1,575	1,880
経常利益（百万円）		872	1,894	1,889	2,000
純利益（%）		472	1,142	1,351	1,250
ROE（%）		5.8	13.0	14.4	12.3
自己資本比率（%）		37.8	37.7	39.9	43.2
有利子負債増減額 CFベース（百万円）（減少△）		△1,279	△916	△305	△600
設備投資額（百万円）		149	340	575	600
為替レート	米国$	93.72円	87.30円	79.63円	75円
	カナダ$	82.65円	84.33円	80.70円	75円
	中国元	13.72円	12.90円	12.35円	12円







事業セグメント別業績見通

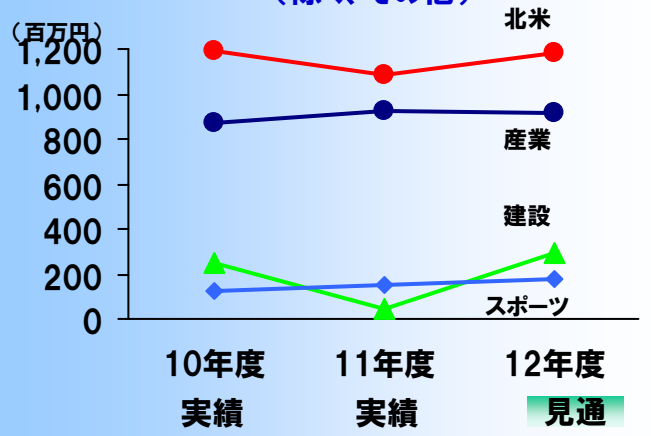
クリヤマ株式会社

（単位：百万円）

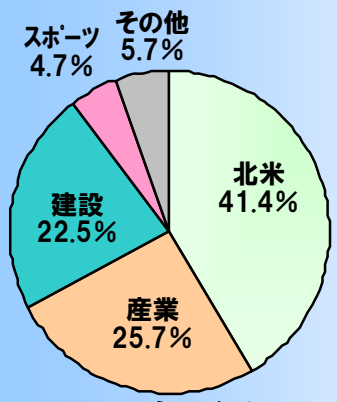
	2010年 実績	2011年 実績	2012年 見通
北米事業	12,673	13,346	13,794
	1,187	1,084	1,185
産業資材事業	8,346	8,052	8,552
	872	928	920
建設資材事業	8,451	7,054	7,489
	251	47	294
スポーツ施設資材事業	1,717	1,565	1,580
	126	150	178
その他事業	1,164	1,456	1,885
	△ 28	6	56
連結	32,354	31,474	33,300
	1,745	1,575	1,880

（注）1.上段は売上高、下段は営業利益。
2.全社費用は上記に表示しておりません。

セグメント別営業利益グラフ
（除く、その他）

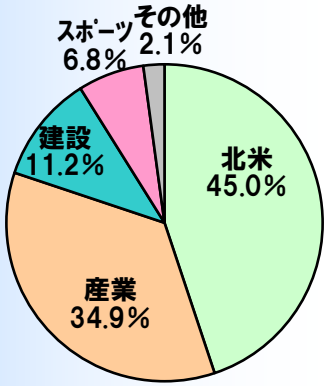


売上高構成比



2012年見通し

営業利益構成比



2012年見通し

セグメント別業績変動要因

クリヤマ株式会社

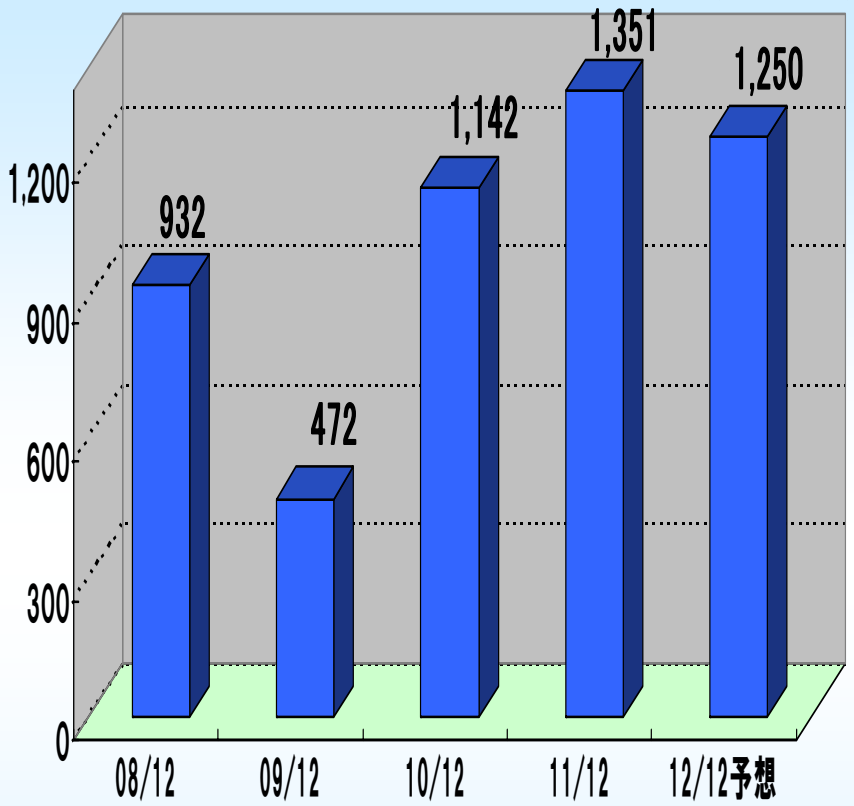
11年度実績と12年度見通変動要因

北　米 事　業	堅調な米国経済を背景に樹脂ホースの販売は引き続き好調を維持。過度な為替円高、又原材料高止まりのマイナス要因を現地通貨の売上高伸長でカバー。増収増益予想。
産業資材 事業	建機顧客等に供給するOEM資材の売上は好調を維持。 但し、原油高による資材調達価格上昇を想定し、利益は横ばいを予想。
建設資材 事業	商業施設等、民間投資受注と東日本大震災復興需要取込を想定し、増収増益を予想。
スポーツ 施設資材 事業	人工芝リサイクル事業など、改修物件の取込により、増収増益を予想。
その他	中国事業は、OEM資材の販売が好調な他、ホテル事業については、インターネット販売増により全体で増収、増益を予想。

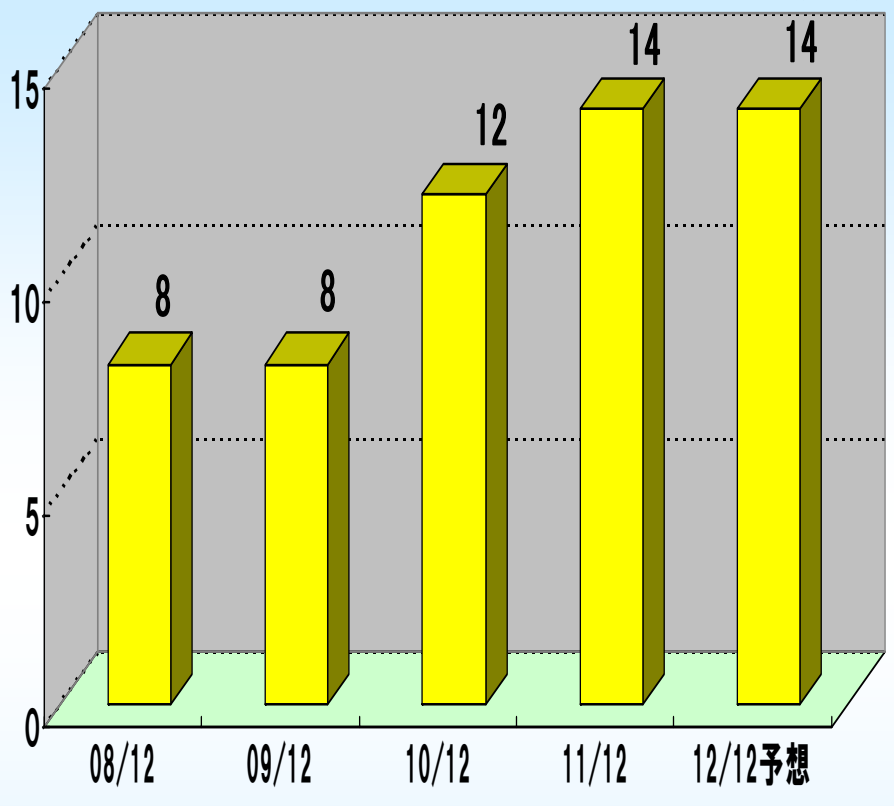
配当金の状況

クリヤマ株式会社

連結純利益の推移



１株当たり配当金の推移



- 09年連結純利益が大幅に落ち込むも継続配当を基本方針として掲げ、8円を継続。
- 10年度以降、業績が回復し、段階的に増配。
- 株主の皆様のご期待に応えるべく、引き続き業績を拡大し、株主還元努力。

Ⅲ 持株会社化にあたって

純粋持株会社　設立の目的

クリヤマ株式会社

（1）柔軟な戦略策定と経営資源の最適な配分

持株会社は、グループ戦略策定、グループ会社の統括、経営資源の配分決定に専念し、営業活動（商売）は事業会社が専念。

（2）グループ全体のマネジメント強化

日本、中国、アメリカ、カナダ各国に中核事業会社を設け、中核事業会社の代表取締役は担当する国のグループ会社を統治（指揮、監督）。

（3）グループとしての企業価値の最大化

各事業会社が保有する多様な経営資源を持株会社の指導の下、柔軟かつ効率的に活用し、グローバル戦略を迅速に推進することにより、企業価値の向上を目指す。

純粋持株会社の概要

クリヤマ株式会社

(1)持株会社化の方式

会社分割(吸収分割)方式とする。

現クリヤマ株式会社を分割会社として、新事業会社(承継会社)を設立し、
現クリヤマ株式会社の全事業・全社員を承継会社に承継する。

(2)分割・承継会社の商号と資本金

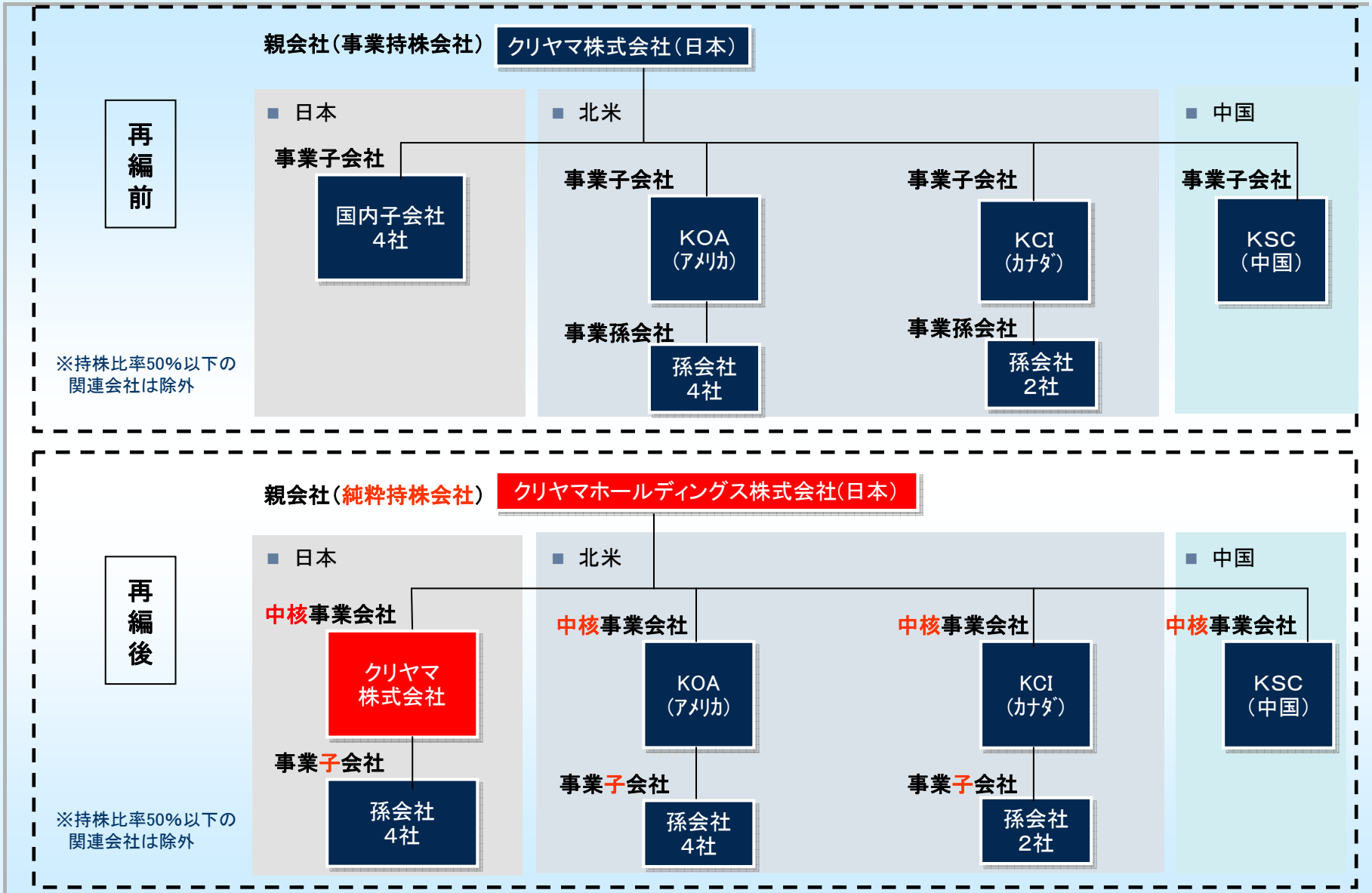
持株会社 (分割会社)	商号	クリヤマホールディングス株式会社
	資本金	783百万円(従来と変更なし)
	市場	東京証券取引所　市場第二部上場
	事業内容	持株会社(子会社支配・管理・経営指導)
新事業会社 (承継会社)	商号	クリヤマ株式会社
	資本金	310百万円
	事業内容	産業資材・建設資材・スポーツ施設資材

(3)持株会社体制移行日

平成24年10月1日より

クリヤマグループ資本体系図イメージ

クリヤマ株式会社



※ 上記会社名略称①KOA ⇒ KURIYAMA OF AMERICA、INC ②KCI ⇒ KURIYAMA CANADA,INC ③KSC ⇒ 上海栗山貿易有限公司

Ⅳ. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略

1 事業ポートフォリオ経営による安定収益確保

リスク分散

選択と集中

北米事業	コア事業として、事業拡大
産業資材事業	グローバル化へ対応強化し、商品を安定的に供給
建設資材事業	民間投資分野への注力・オリジナル商品の一層の拡販
スポーツ施設資材事業	改修物件の受注取込強化
その他	中国事業を強化し、独立事業体として育成

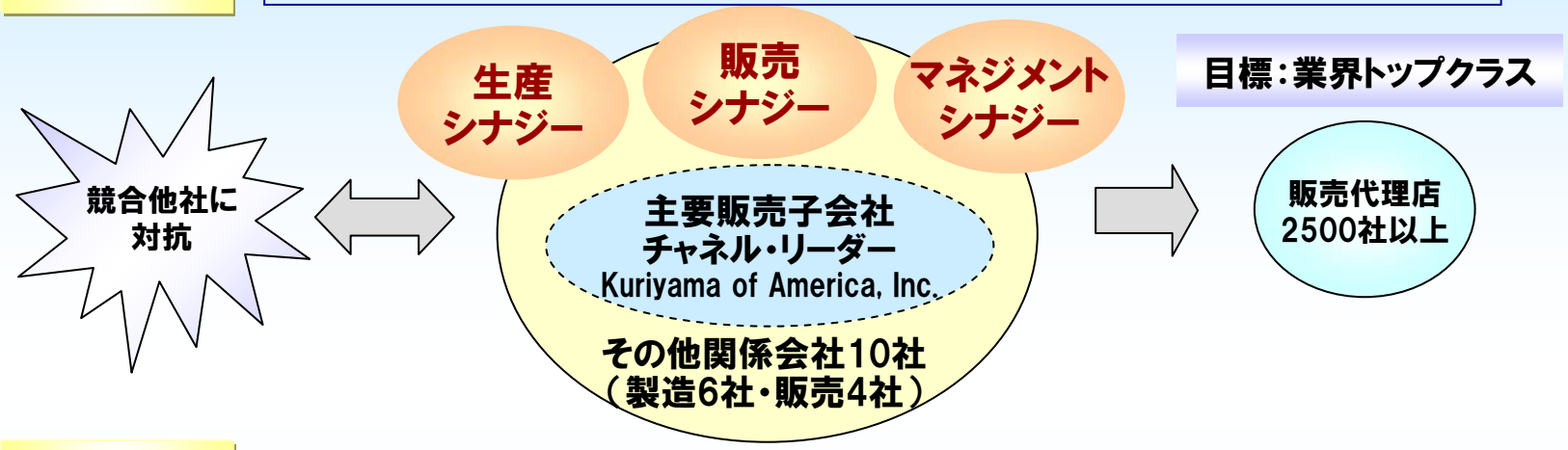
安定収益確保

基本戦略

2 グローバルな事業基盤の確立

北　米

北米ホース事業拡大と確固たる競争優位を確立



アジア、新興国

樹脂ホース販売拡大を目論み、グループ会社間連携強化
国内向け建設資材の安定供給、サービス体制強化

北米事業

クリヤマ株式会社

－コア事業としての一層の事業拡大－

① 「KURIYAMA　VALUE」ブランドの浸透を推進

② アジア、中南米市場への参入強化

③ 差別化商品の量産体制確立と販売強化

④ 北米既存市場での販売シェア拡大

⑤ オイルガス採掘市場及び高圧ホース市場への参入強化

⑥ 顧客満足を高めるために適正在庫を確保

業績見通（百万円）

	2011年実績	2012年予想
売　上　高	13,346	13,794
営業利益	1,084	1,185

North supplies

Kuriyama of America
（各種ホースの販売）

Kuri Tec Manufacturing
（樹脂ホースの製造）

Kuriyama Canada
（樹脂ホースの製造）

Accuflex Industrial Hose
（飲料用ホースの製造）

産業資材事業

－顧客のグローバル化に伴う対応強化－

① NORMA、樹脂コネクター等、重点商品の販促強化

② 物件の進捗トレース強化による営業品質の向上

③ 商品構成比率の改善強化

④ プラント関連商品、船舶関連商品の販売強化

⑤ 顧客からの品質保証要求に対する品質管理体制の整備

⑥ モジュール化の推進等による高付加価値商品販促強化

⑦ VA･VE提案活動の強化

⑧ 在庫管理体制の強化･適正在庫品の維持

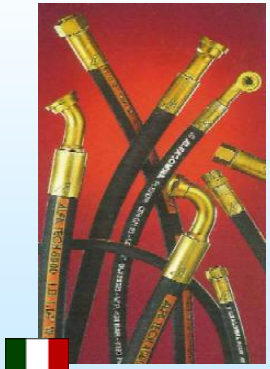
業績見通（百万円）

	2011年 実績	2012年 予想
売 上 高	8,052	8,552
営業利益	928	920

Industrial supplies

船舶居住区用床材

NORMAグループ製品



ALFA高圧ホース

耐油シリコンホース

建設資材事業

－民間投資分野への注力・オリジナル商品の一層の拡販－

① 百貨店、鉄道、チェーンストア市場への販売強化

② 当社オリジナル製品（スーパーマテリアルズ・エーストン・Mブレイル等）の販売強化

③ 復興需要取込強化

④ オリジナル商品の品質、コスト、在庫管理の強化

⑤ 物件の進捗トレース強化による営業品質の向上

⑥ 多面的施工能力を持った人材の育成強化

業績見通（百万円）

	2011年実績	2012年予想
売上高	7,054	7,489
営業利益	47	294

Construction supplies

セラミックタイル
（スーパーマテリアルズ）

ノンスリップタイル・点字タイル
（エーストン・Mブレイル）

アルミシェルター

スポーツ施設資材事業

クリヤマ株式会社

－改修物件の取込強化－

① スーパーX、タラフレックスの新設及び改修物件の販売強化

② 「モンドターフ」のリサイクル事業を核とした改修マーケットへの参入強化

③ 代理店との連携による新たな人脈作り

④ 営業プロセス及び情報物件の管理を徹底

業績見通（百万円）

	2011年実績	2012年予想
売　上　高	1,565	1,580
営業利益	150	178

人工芝　リサイクルシステム

Sports facility

ナショナルトレーニングセンター

全天候型トラック
（スーパーX）

スポーツ床材
（タラフレックススポーツ）

人工芝
（モンドターフ）

その他

－中国事業を独立事業体として育成－

中国事業

① 中国商業施設等へ床材の販売促進

② 建機、農機等、OEM資材受注拡大

③ 北米グループ会社との連携による樹脂ホースの販売促進、代理店確保

④ 業容拡大に伴う物流体制整備と人材の育成

ホテル事業

① 提携先との連携に基づくネット販売強化

② 差別化商品の販売強化とスポーツ団体顧客取込強化

アウトドア用品販売事業

① 主力ブランド商品（MONTURA）の販売強化

② 大黒柱となる事業発掘とその育成

ダスコン用品販売事業

① 高付加価値マットの提案と既存顧客のシェアアップ

② OEM展開による制菌マット等の拡販

研究開発事業

① 産業資材・建設資材・スポーツ施設資材の商品改良等を行い、各事業を補完

業績見通（百万円）

	2011年 実績	2012年 予想
売 上 高	1,456	1,885
営業利益	6	56

Other

クリヤマ株式会社
KURIYAMA CORPORATION

＜お問い合せ先＞

クリヤマ株式会社　経営企画本部

E-Mail：IR@kuriyama.co.jp

TEL　06-6305-5721

FAX　06-6305-5604

http://www.kuriyama.co.jp